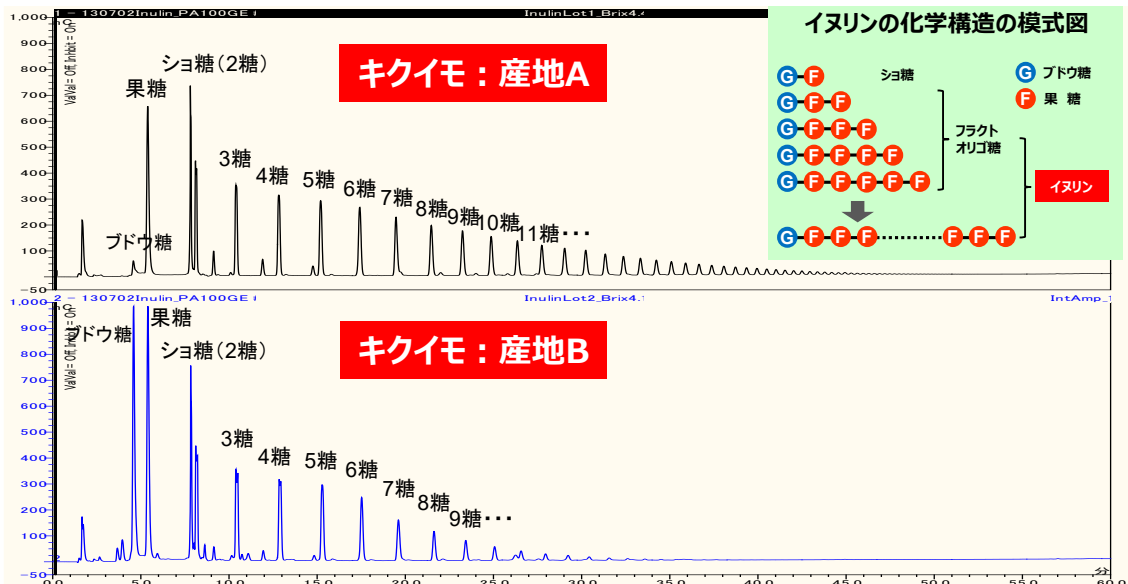



# キクイモに含まれる多糖類イヌリンの測定

事例	キクイモに含まれる多糖類イヌリンを測定しました。
試験内容 と結果	<p>糖質分析システムを用いて、キクイモに含まれる機能性多糖類イヌリンを測定しました。</p>  <p>イヌリンの化学構造の模式図</p> <p>イヌリンは、キクイモやゴボウ、ニラなどに含まれる多糖類で、果糖が鎖状に多数連なった構造をしています。糖質分析システムでは、鎖の長さ(重合度)が異なるイヌリンを、重合度ごとに個別に検出することができます。</p> <p>上の測定結果が示すように、産地 A のキクイモの方が、産地 B に比べ、より高い重合度のイヌリンを多く含んでいました。このように、産地によるイヌリンの重合度の違いを、糖質分析システムにより明らかにすることで、機能性成分の品質管理等に応用できます。</p>
使用装置	<p>糖質分析システム (平成 27 年度電源立地地域対策交付金)</p>  <p>メーカー名: ThermoFisher Scientific 型式: ICS-5000+</p> <p>【機器の概要】 クロマトグラフィーの原理を用いて、食品や農林水産物に含まれる糖質を分析します。糖質の種類と含量の両方を調べることができます。</p>
手数料 使用料	<p>手数料: 応用試験 (前処理、所要日数等により料金が異なります)</p> <p>使用料: 糖質分析システム 2,000円/時間</p>